

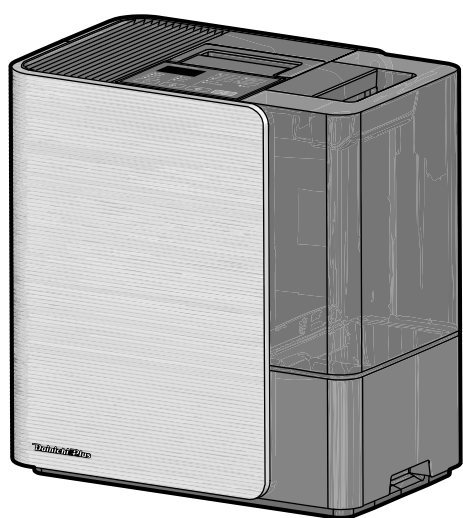
ハイブリッド式加湿器 [温風気化/気化式]

取扱説明書

＜保証書付＞裏表紙に付いています

エイチ ディー エルエックス

HD-LX1023 HD-LX1223



もくじ

安全のために必ずお守りください……………	1	ご使用前
特長……………	4	
各部のなまえ……………	5	
使用する場所・使用前の準備……………	7	
運転を開始するとき……………	9	使用方法
運転を停止するとき……………	10	
チャイルドロックを使用するとき……………	10	
運転切換をするとき……………	11	
湿度設定をするとき……………	12	
タイマー運転を使用するとき……………	13	
お手入れサインが点滅したとき……………	14	
スマートリモコンから操作するとき……………	15	
お手入れのしかた……………	19	点検・その他
定期点検のおすすめ……………	21	
保管と廃棄のしかた……………	21	
故障かな?と思ったら……………	22	
消耗部品の交換について……………	23	
部品のご注文について……………	24	
仕様……………	25	
保証とアフターサービス……………	26	
保証書……………	裏表紙	

この製品は日本国内専用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

■製品アンケートへのご協力をお願いします
ご回答の際、ご購入機種の製造番号やお客様のお名前などの入力が必要です。
<https://www.dainichi-net.co.jp/p-enquete/>

ダイニチ工業 製品アンケート



■部品のご注文について [24ページ](#)
別売部品はお買い上げの販売店もしくは、「ダイニチWebShop」でもご注文ができます。
<https://webshop.dainichi-net.co.jp/>

ダイニチWebShop





※通送料などはお客様のご負担となります。

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。
裏表紙の保証書は、「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめください。



安全のために必ずお守りください

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

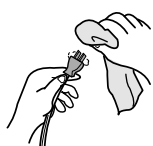
ご使用前

 警告(WARNING)	
<p>分解修理・改造の禁止</p> <p>故障・破損したら、使用しないでください。また、お客様自身による分解・修理・改造はしないでください。感電や故障の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。 26ページ</p> 	<p>水に浸けたり、水などをかけたりしない</p> <p>本体を水に浸けたり、水やコーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。水などの液体が本体内部に流れ込むと、故障・漏電・火災の原因になります。水に浸けたり、水などの液体をかけてしまったときはご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 26ページ</p> 
<p>交流100V以外での使用やタコ足配線をしない</p> <p>タコ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。</p> 	<p>異常・故障時は運転を停止して電源プラグを抜く</p> <p>水漏れ、焦げくさい臭いなど異常や故障と思われるときはご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。火災・感電・けがの原因になります。 26ページ</p> 
<p>【HD-LX1223ご使用の方】交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用する</p> <p>他の機器と併用したり、延長コードを使用しないでください。定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p> 	<p>お手入れするときは、電源プラグを抜く</p> <p>感電の原因になります。</p> 
<p>本体内に異物を入れない</p> <p>吹出口や吸気グリルにピンや針金などの異物を入れないでください。感電やけがの原因になります。</p> 	<p>お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は使わない</p> <p>有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。</p> 
<p>幼児の手の届くところでは使わない</p> <p>子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。やけど・けが・感電の原因になります。</p> 	<p>運転停止直後(約1分間)はヒータ周辺に触れない</p> <p>やけど・けが・感電の原因になります。</p> 

⚠ 警告 (WARNING)

電源プラグのお手入れをする

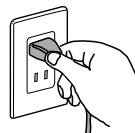
ときどきは電源プラグを抜き、ほこりなどを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



必ず行う

電源プラグは確実に差し込む

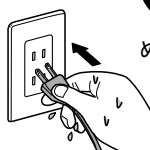
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災や感電の原因になります。



必ず行う

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

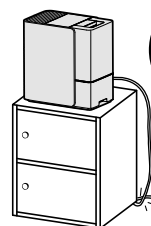
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、重い物をのせないでください。また、束ねたまま使用しないでください。火災や感電の原因になります。



禁止

⚠ 注意 (CAUTION)

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

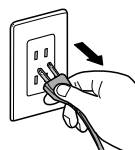
けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く

電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。火災や感電の原因になります。



必ず行う

水道水(飲用)以外は使用しない

- 40℃以上のお湯や汚れた水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水などを使用しないでください。雑菌やカビが繁殖しやすくなったり、変形・割れ(水漏れ)・故障の原因になります。
- 化学薬品(塩素系除菌消臭剤など)、芳香剤(アロマオイルなど)を使用しないでください。変形・割れ(水漏れ)・故障・火災の原因になります。



禁止

タンクの水や本体内部は常に清潔にする

タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。お手入れせずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭の原因になります。体質によっては、過敏に反応し健康を損なう原因になります。



必ず行う

不安定な場所に置いたり、傾けて使用しない

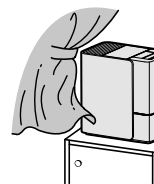
水がこぼれ、火災や感電の原因になります。



禁止

加湿された風が家具、壁、カーテンなどに直接あたるところには置かない

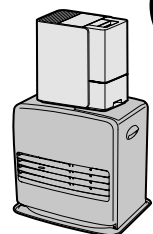
しみが付いたり、変形するおそれがあります。



禁止

暖房機など電化製品の上に置かない

転倒すると水がこぼれ、火災や感電の原因になります。



禁止

吸気グリル・抗菌エアフィルターを外したまま使用しない

性能が発揮されず、故障の原因になります。



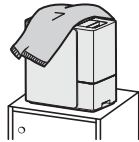
禁止

安全のために必ずお守りください

お願い(NOTICE)

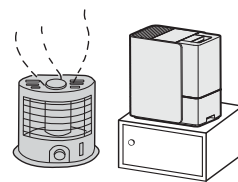
吹出口や吸気グリルをふさがない

吹出口や吸気グリルをふさぐと変形や故障の原因になります。



直射日光のあたるところや暖房機の上や近くに置かない

タンク内の空気が膨張し、水があふれたり、プラスチック部分に変形や変質するおそれがあります。



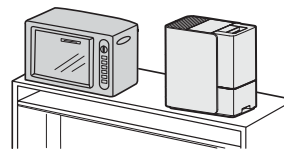
こまめにお手入れする

お手入れせずに使用を続けると、本体内部に水アカなどが付着してとれにくくなり、誤動作や故障の原因になります。



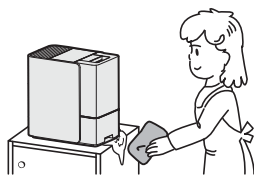
磁気の多いところには置かない

電磁調理器やスピーカーの近くなど磁気の多いところには置かないでください。正常に作動しないときがあります。



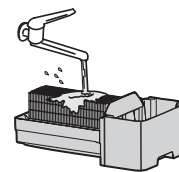
本体下部や棚などをときどき清掃する

水がこぼれたまま放置すると、棚などを傷めるおそれがあります。



本体内部には直接水を入れない

トレイに直接水を入れないでください。故障の原因になります。



長期間使用しないときは、タンク・トレイの水を捨てる

水を入れたまま放置すると、雑菌やカビが繁殖し悪臭の原因になります。

タンクを入れたまま移動しない

移動するときは、必ずタンクを取り出し、トレイの水を捨ててから、取っ手を持ち、傾けないように静かに運んでください。水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。

水漏れ確認

タンクキャップは確実に閉めてください。タンクキャップを下にして水漏れがないことを確かめてください。また、タンクを落としたときは、タンクの破損による水漏れがないことを確かめてください。水漏れがあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。26ページ



凍結のおそれがあるときは、タンク・トレイの水を捨てる

凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

抗菌気化フィルターを外したまま使用しない

故障の原因になります。

タンク・トレイの水を飲まない、飲ませない

体調不良の原因になります。

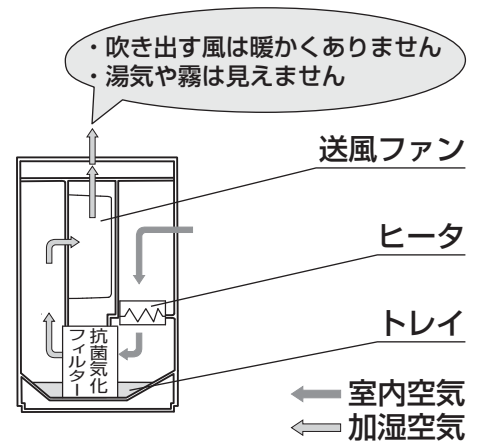
湿度の高いところ(85%以上)では使用しない

故障の原因になります。

特 長

1 ハイブリッド式(温風気化/気化式)

- ハイブリッド式は、水を含んだ抗菌気化フィルターに風をあてて加湿する「気化式」と、温風をあてて加湿する「温風気化式」を組み合わせた方式です。
湿度が低いときは、「温風気化式」ですばやく加湿し、設定湿度に近づくと温風を使わない「気化式」に切り換え加湿量を調整します。
- 「温風気化式」でも、ヒータで暖められた風は、抗菌気化フィルターで水が気化するときに熱が奪われるので、吹出口より吹き出す風は暖かくありません。また、スチームファン式や超音波式のような湯気や霧は見えません。



2 静音設計

運転音を抑えていますので、就寝時にも快適にご使用いただけます。

3 選べる運転モード 11ページ

お好みに合わせて運転モードが選べます。

4 抗菌機能搭載

- ①Ag+抗菌アタッチメントEX：水中に溶出した抗菌※1成分が、タンク内の雑菌の繁殖を抑えます。
- ②抗菌フラットトレイ：抗菌※2加工を施し、トレイ内の雑菌の繁殖を抑えます。
- ③抗菌気化フィルター：抗菌※3・防カビ※4加工を施し、トレイ内の雑菌・カビの繁殖を抑えます。
- ④抗菌エアフィルター：抗菌※5・防カビ※6・抗アレル物質(スギ花粉・ダニの死骸)※7加工を施し部屋の空気から捕らえた雑菌・カビ・アレル物質(スギ花粉・ダニの死骸)の繁殖を抑えます。
- ⑤抗菌操作プレート：抗菌※8加工を施し、操作プレート(操作部)表面の雑菌の繁殖を抑えます。

	※1	※2	※3	※4
試験機関	一般財団法人 日本食品分析センター	一般財団法人 ボーケン品質評価機構		
試験方法	一般社団法人 日本電機工業会 自主基準(HD-133)に準拠 (試験対象：水中の2種類の菌)	JIS Z2801に準拠	JIS L1902に準拠	JIS Z2911に準拠
抗菌・防カビの方法	タンクの水に抗菌剤を浸漬	トレイに抗菌加工	フィルターに抗菌剤を 含浸	フィルターに防カビ剤 を含浸
抗菌・防カビを行なっている対象部分の名称	Ag+抗菌アタッチメントEX	抗菌フラットトレイ	抗菌気化フィルター	
試験結果 (試験番号)	6時間で99%以上の抑制を確認 (第18054444001-0101号) (第18081600001-0101号)	99%以上の抑制を確認 (10024862-1) (10024862-2)	99%以上の抑制を確認 (20216048889-1)	抑制を確認 (20216048889-2)

	※5	※6	※7	※8
試験機関	東亜合成株式会社 製品研究所			一般財団法人 ボーケン品質評価機構
試験方法	JIS L1902に準拠	JIS Z2911に準拠	サンドイッチELISA法	JIS Z2801に準拠
抗菌・防カビ・抗アレル物質の方法	フィルターに抗菌剤を含浸	フィルターに防カビ剤を 含浸	フィルターに抗アレル物質剤 を含浸	メジウムに抗菌剤を配合
抗菌・防カビ・抗アレル物質を行なっている対象部分の名称	抗菌エアフィルター			抗菌操作プレート
試験結果 (試験番号)	99%以上の抑制を確認 (No.1905N20)	抑制を確認 (No.C1905N20)	抑制を確認 (No.A1905N20-3)	99%以上の抑制を確認 (No.20215010681-1)

各部のなまえ

外観図

前面

タンク取っ手 **8**ページ

点 タンク **7**ページ **8**ページ **19**ページ **20**ページ

Ag+抗菌アタッチメントEX
(消耗部品) **19**ページ **24**ページ

タンクキャップ

8ページ **24**ページ

点 抗菌気化フィルター
(消耗部品) **20**ページ **23**ページ
※片側が開きますので、取り扱いに注意してください。

点 トレイ仕切板

20ページ **24**ページ

取っ手 **7**ページ

フロート **20**ページ

※発泡スチロールは外さないでください。

操作・表示部 **6**ページ

点 ヒータ **1**ページ

カンタン取替えトレイカバー
(消耗部品) **24**ページ

※トレイカバーは外さずにそのままお使いください。

本体に添付されているシールに使用開始日をご記入のうえ、イラストのように貼って交換の目安にしてください。

Ag+抗菌アタッチメントEX
商品コード：H011502(K：黒色)
商品コード：H011503(W：白色)
(使用開始日 年 月 日)
Ag+抗菌アタッチメント交換の目安
1シーズン(6カ月使用の場合)

抗菌フラットトレイ **20**ページ **24**ページ
(以下、「トレイ」)

背面

点 抗菌エアフィルター
(消耗部品) **19**ページ **24**ページ

点 吸気グリル **19**ページ

吹出口 **7**ページ

温湿度センサー
7ページ **9**ページ

点 電源プラグ **8**ページ

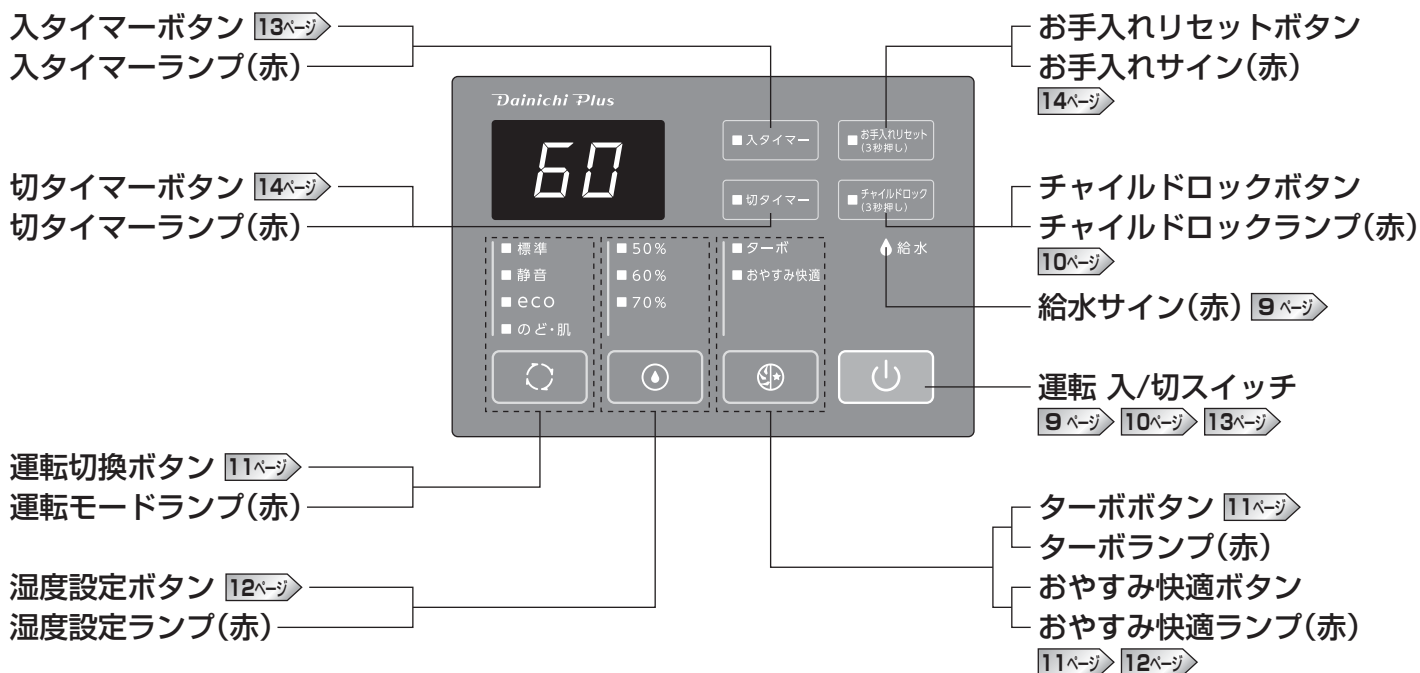
点 電源コード **8**ページ

点 運転中高温になる部分(ご注意ください)

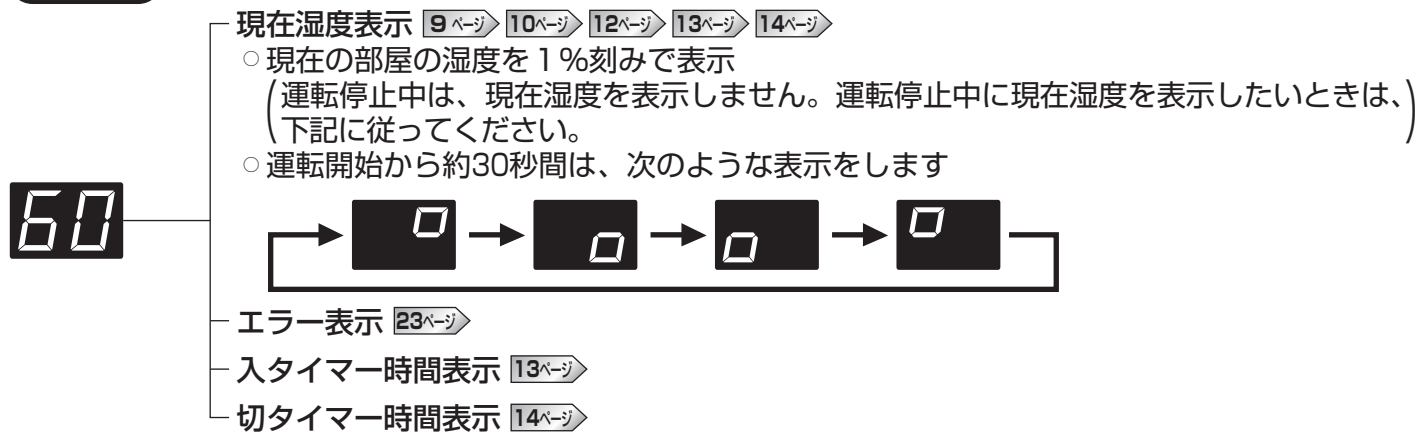
点 点検・手入れが必要な部分

操作・表示部

操作部



表示部



現在湿度表示の切り換えかた

運転中に現在湿度表示を消したいとき

チャイルドロックボタンとお手入れリセットボタンを「ピッピッ」と鳴るまで同時に約3秒間押す



運転停止中に現在湿度を表示したいとき

湿度設定ボタンを「ピッピッ」と鳴るまで約3秒間押す



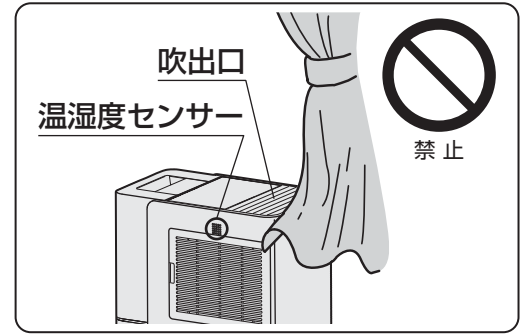
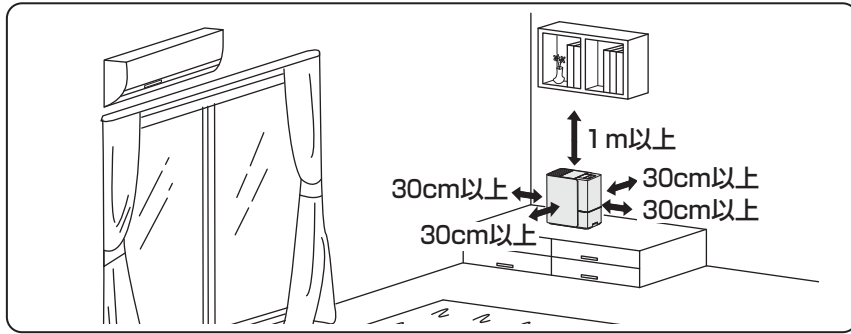
※電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、設定が解除されます。

使用する場所・使用前の準備

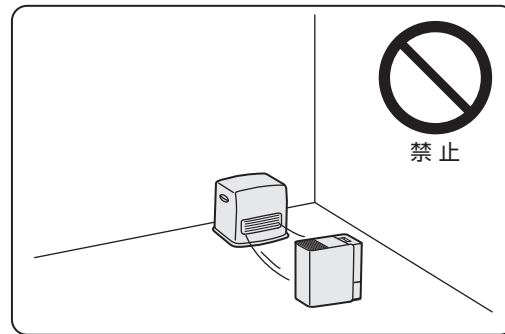
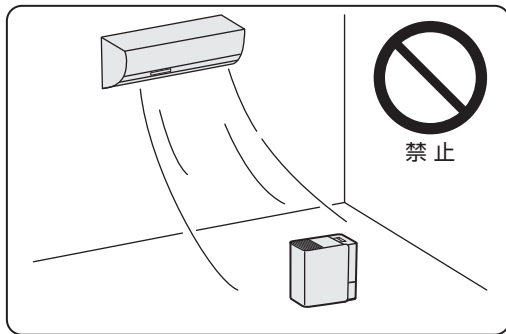
設置のしかた

設置場所

- 直射日光や冷気の影響を受けやすい窓際から離して設置してください。
- 設置状況の影響により正しい湿度を表示しないことがあります。部屋の空気の循環をよくして使用してください。
- 水平で丈夫な場所に設置してください。
- カーテンや壁、家具などから図に示す距離をとってください。
- カーテンなどが吹出口や背面の温湿度センサーをふさがないように設置してください。



- 加湿器本体にエアコン・暖房機の温風が直接あたらないところに設置してください。



移動するとき

- 必ずタンクを取り出し、トレイの水を捨ててから、取っ手を持ち、傾けないように静かに運んでください。水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。



使用条件(室温と湿度)

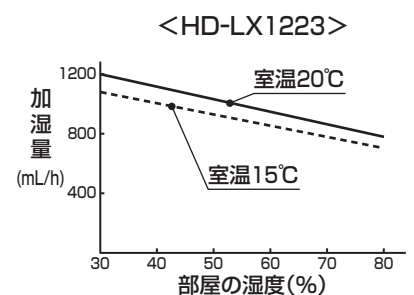
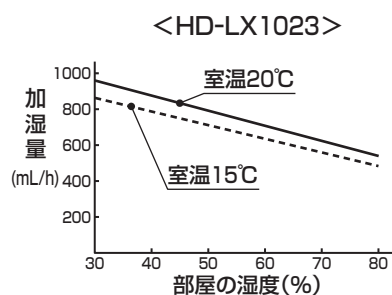
- 室内温度は0~40℃、湿度は20~85%で使用してください。
- 室内の湿度や温度条件により加湿量は変わります。

加湿量について

次のときには加湿量が少なくなります。

- 雨の日など、湿度が高いとき
- 室内の温度が低いとき

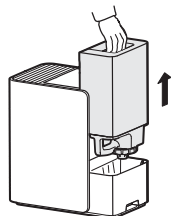
部屋の湿度と加湿量(標準運転のとき)



運転開始前の準備

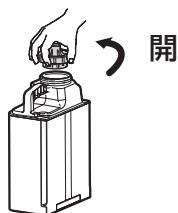
タンクに給水する

- 1** タンク取っ手を持ち、タンクを取り出す



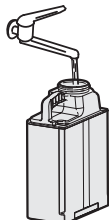
- 2** タンクキャップを外す

- 外したタンクキャップにごみ、糸くず、ほこりなど付着しないように注意してください。



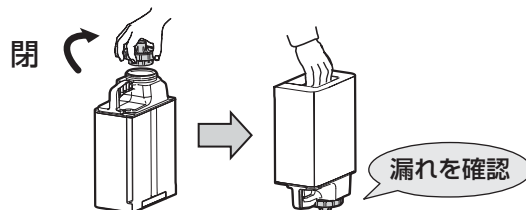
- 3** タンクを振り洗いしてから、水道水(飲用)を口元までゆっくり給水する

- 水道水(飲用)は、一般に塩素処理されており、雑菌が繁殖しにくいいため、必ず水道水(飲用)を使用してください。

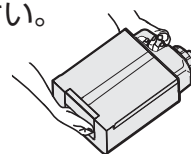


- 4** タンクキャップを確実に閉める

- タンクについた水は完全にふき取ってください。
- タンクキャップを下にして水漏れがないことを確認してください。
※漏れているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。26<small>A-J</small>

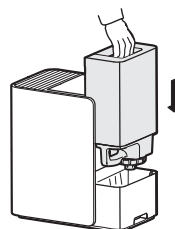


- タンクを満水にすると重くなりますので、持ち運びには注意してください。持ち運ぶときは、上下のタンク取っ手を両手でしっかりと持ってください。



- 5** タンクを本体にセットする

- トレイが確実に本体の奥まで入っていることを確認してください。

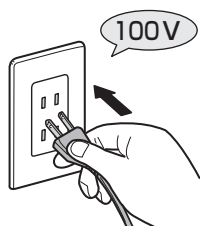


お守りください

- 40℃以上のお湯や汚れた水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水などを使用しないでください。
雑菌やカビが繁殖しやすくなったり、変形・割れ(水漏れ)・故障の原因になります。
- 化学薬品(塩素系除菌消臭剤など)、芳香剤(アロマオイルなど)を使用しないでください。
変形・割れ(水漏れ)・故障・火災の原因になります。

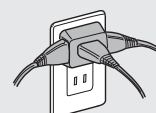
電源コードを接続する

電源プラグをコンセント(100V)に確実に差し込む。



お守りください

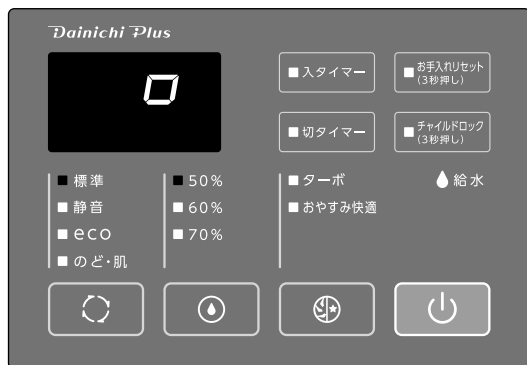
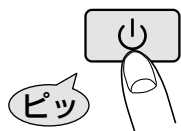
- 家庭用電源(100V)以外では使用しないでください。
動作異常や予想しない事故の原因になります。
- 200V電源には絶対に差し込まないでください。
火災・感電・故障の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。また、HD-LX1223をご使用の方は、定格15A以上のコンセントを使用し、他の機器と併用したり、延長コードを使用しないでください。
定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



禁止

運転を開始するとき

運転 入/切スイッチを押す



- 湿度設定ランプ(赤)と運転モードランプ(赤)が点灯し、運転を開始します。

- 約30秒後に現在湿度を表示します。 [6ページ](#)
(現在湿度表示を消したいとき… [6ページ](#))

※設定した湿度になるように自動で加湿量を調整し、運転します。ただし、十分な加湿が得られているときは、運転を停止する場合があります。

※室内温度が高いときや低いときは、現在湿度が設定湿度より低いときでも、加湿量を抑えて運転する場合があります。

現在湿度表示について

現在湿度表示は目安としてお使いください。

- 本体内部の温湿度センサーで検知した湿度を表示します(表示湿度は、30~80%)。
- 湿度が30%以下のときは、現在湿度は「30」を表示します。
- 運転を開始してから安定するまで約5分かかります。また、急激な温度変化や設置状況などの影響により正しい湿度表示をしないことがあります。
- 現在湿度表示と他の湿度計の表示は、加湿器の設置状況や湿度計の種類により、一致しないことがあります。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。 [26ページ](#)

給水の合図

加湿運転中にタンクの水がなくなると給水サイン(赤)の点滅と10回のブザー音でお知らせします。同時に現在湿度表示も点滅します。



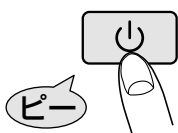
給水

ピーピーピー…

- 約20秒間送風後、停止します。使用状況などにより送風しないときもあります。
- ※給水サイン(赤)が点滅したときにタンクの中に少量の水が残っていることがありますが、異常ではありません。
- ※現在湿度表示を消しているときや、おやすみ快適運転中、切タイマー運転中は、ブザー音は鳴りません。

解除のしかた

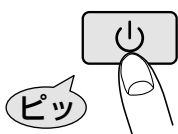
1. 運転 入/切スイッチを押す



給水

- 給水サイン(赤)と現在湿度表示が消灯します。

2. タンクに水を入れ、本体にセットしてから再度、運転 入/切スイッチを押す



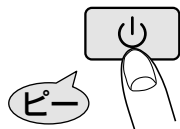
- 運転を開始し、約30秒後に現在湿度を表示します。
- ※現在湿度表示を消しているときは、現在湿度を約3秒間表示後、消灯します。

メモ

- タンクを入れてから、トレイや抗菌気化フィルターに水が行きわたるまでに1~2分かかります。
- 初めてお使いになるときは、ヒータ(電熱線)の発熱により、吹出口から防錆油の焼ける臭いがあります。1時間ほどでおさまりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。

運転を停止するとき

運転 入/切スイッチを押す



- すべてのランプと現在湿度表示が消灯します(現在湿度を表示したいとき…◀6ページ)。
- 約20秒間送風後、停止します。使用状況などにより送風しないときもあります。

メモ

- 運転停止中に現在湿度の表示を行うと、部屋の湿度を検知するため一定の間隔でファンが回りますが異常ではありません。気になる方は現在湿度表示を消してください。◀6ページ

お守りください

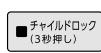
- 運転停止後約20秒間は、本体内を冷やすため送風ファンが回っているときがありますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。電源プラグを抜いて運転を停止したり、停止後すぐに電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

チャイルドロックを使用するとき

チャイルドロックをセットする

小さなお子さまのいたずらや、運転誤操作を防止したいときにお使いください。運転中、運転停止中のどちらでもセットできます。

チャイルドロックボタンを「ピッピッ」と鳴るまで約3秒間押す



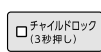
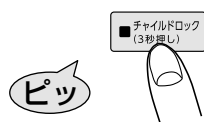
- チャイルドロックランプ(赤)が点灯します。(チャイルドロックの解除以外は、操作ができなくなります)

メモ

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、チャイルドロックが解除されます。再度、セットしてください。

チャイルドロックを解除する

チャイルドロックボタンを「ピッ」と鳴るまで約3秒間押す



- チャイルドロックランプ(赤)が消灯します。

運転切換をするとき

お好みの運転モードに設定してください。

標準：設定した湿度になるように自動で加湿量を調整し、運転します。

静音：風量を弱めて自動で加湿量を調整し、運転します。

エコ(eco)：消費電力を抑えながら自動で加湿量を調整し、運転します。

のど・肌加湿：室温に応じて、「のど・肌」のうるおいを守る湿度に自動で加湿量を調整し、運転します。

ターボ：すばやく設定湿度に達するように風量を強めて運転します(最長1時間)。

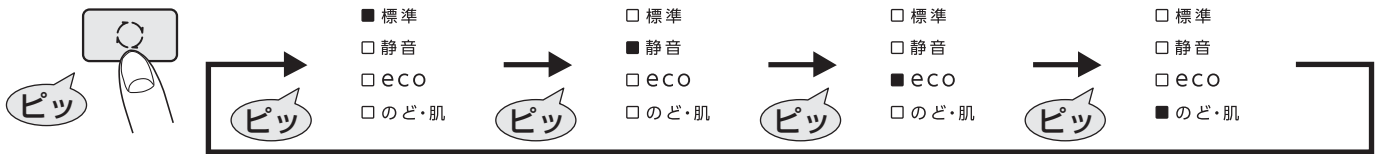
おやすみ快適：就寝時に風量を弱めて静かに運転します。

※静音運転とエコ(eco)運転は、最大加湿量が少なくなり、部屋の広さや条件によっては設定湿度に達するまでの時間が長くなる場合があります。

◆標準・静音・エコ(eco)・のど・肌加湿運転

運転切換ボタンを押す

運転切換ボタンを押すごとに運転モードが切り換わります。

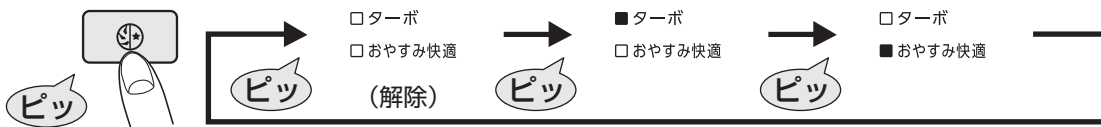


○選んだ運転モードランプ(赤)が点灯します。

◆ターボ・おやすみ快適運転

ターボボタン・おやすみ快適ボタンを押す

ターボボタン・おやすみ快適ボタンを押すごとに運転モードが切り換わります。



○選んだ運転モードのランプ(ターボランプ(赤)、またはおやすみ快適ランプ(赤))が点灯します。

ターボ運転

設定するとき

ターボボタンをターボランプ(赤)が点灯するまで押す



○設定湿度に達するまで風量を強めて最長1時間運転し、自動で解除されます。解除後は、ターボ運転に設定する前のいずれかの運転モード(標準・静音・エコ(eco)・のど・肌加湿)に戻ります。

解除するとき

ターボボタンをターボランプ(赤)が消灯(解除)するまで押す



○解除後は、ターボ運転に設定する前のいずれかの運転モード(標準・静音・エコ(eco)・のど・肌加湿)に戻ります。

おやすみ快適運転

設定するとき

おやすみ快適ボタンをおやすみ快適ランプ(赤)が点灯するまで押す

- ターボ
- おやすみ快適

- 現在湿度表示が消灯します。
- 通常より暗く湿度設定ランプ(赤)が点灯します。



最小風量運転(約1時間)



- 部屋の湿度に関係なく風量を最小に抑えて加湿します。

静音運転(約9時間)



- 選んだ設定湿度で加湿します。
- 通常より暗く現在湿度を表示します。

自動停止(おやすみ快適運転開始から約10時間後)

- すべてのランプと現在湿度表示が消灯します。
(現在湿度を表示したいとき... [6ページ](#))
- 約20秒間送風後、停止します。使用状況などにより送風しないときもあります。
※切タイマー運転セット中は、切タイマーの設定時間が優先になります。

解除するとき

おやすみ快適ボタンをおやすみ快適ランプ(赤)が消灯(解除)するまで押す

- ターボ
- おやすみ快適

- 解除後は、おやすみ快適運転に設定する前のいずれかの運転モード(標準・静音・エコ(eco)・のど・肌加湿)に戻ります。



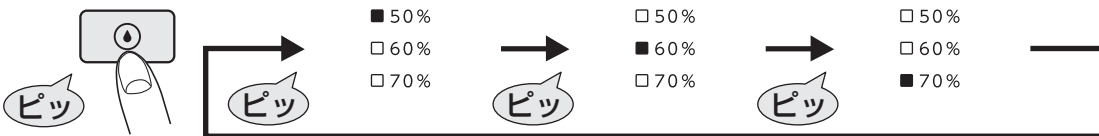
メモ

- ターボ運転、おやすみ快適運転中に運転を停止すると、運転モードが解除されます。再度、運転を開始したときは、運転切換前のいずれかの運転モード(標準・静音・エコ(eco)・のど・肌加湿)に戻ります。

湿度設定をするとき

湿度設定ボタンを押す

湿度設定ボタンを押すごとに湿度設定が切り換わります。



- 選んだ湿度設定ランプ(赤)が点灯します。
- ※のど・肌加湿運転のときは、湿度設定はできません(湿度設定ランプ(赤)消灯)。

メモ

- 設定湿度を選ぶ目安としては、就寝時や室内の結露が気になるときは「50%」、乾燥が気になるときは「60%」、または「70%」に設定してください。

タイマー運転を使用するとき

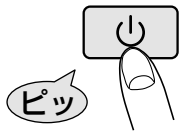
入タイマー運転をセットする

一定時間後に運転を始めたいとき

2時間後、4時間後、6時間後、8時間後の設定ができます。

1 運転入/切スイッチを押し、運転状態にする

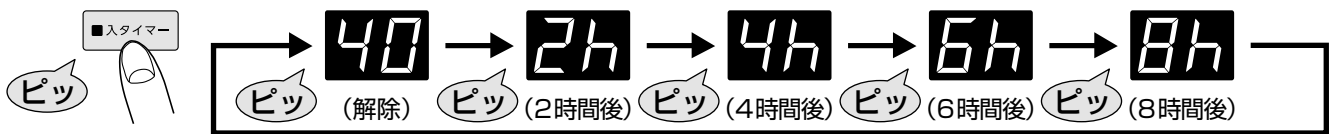
(運転中にセットするときには、運転入/切スイッチを押し必要はありません)



湿度設定ランプ(赤)と運転モードランプ(赤)が点灯し、運転を開始します。

2 入タイマーボタンを押す

入タイマーボタンを押すごとに入タイマー時間表示が切り換わります。



- 入タイマーランプ(赤)が点灯し、運転を停止します。
- 選んだ時間を約3秒間表示後、表示部が消灯し、入タイマー運転待機中になります。(運転モードや湿度設定を変えることができます…)

運転開始までの時間の確認について

入タイマーボタンを押す

時間の経過とともに、1時間単位で運転開始までの時間を約3秒間表示します。



4h

運転開始までの目安を表示します。(例：表示が「4h」のときは、4～3時間)

3 設定した時間になると、自動的に運転を開始します

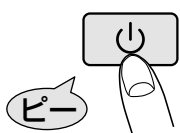
- 運転を開始し、約30秒後に現在湿度を表示します(現在湿度表示を消したいとき…)
- ※おやすみ快適運転のときは、おやすみ快適ランプ(赤)が点灯し、現在湿度表示が消灯します。

メモ

- 切タイマー運転中は、入タイマー運転をセットすることができません。
- 入タイマー運転待機中にタイマー時間を変えたいときは、もう一度 1 からセットしてください。
- 入タイマー運転待機中に電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したとき、本体を傾けたり転倒したことにより安全装置が作動したときは、もう一度 1 からセットしてください。

入タイマー運転を解除する

運転入/切スイッチを押し



入タイマー

入タイマーランプ(赤)が消灯します。

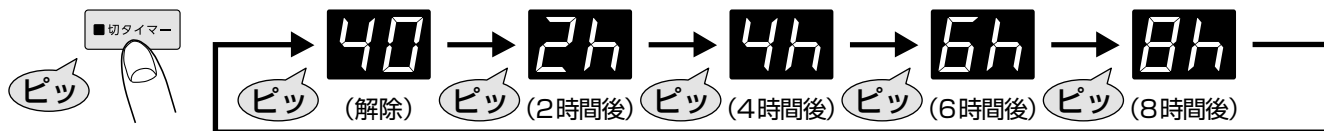
切タイマー運転をセットする

一定時間で運転を終わらせたいとき

2時間後、4時間後、6時間後、8時間後の設定ができます。

1 切タイマーボタンを押す

切タイマーボタンを押すごとに切タイマー時間表示が切り換わります。



- 切タイマーランプ(赤)が点灯し、選んだ時間を約3秒間表示後、現在湿度表示に戻ります。
- 切タイマー運転中は表示部が通常より暗くなります。

運転残り時間の確認について

切タイマーボタンを押す

時間の経過とともに、1時間単位で運転残り時間を約3秒間表示します。



2 設定した時間が経過すると、自動的に運転を停止します

- すべてのランプと現在湿度表示が消灯します(現在湿度を表示したいとき…◀6ページ)。
- 約20秒間送風後、停止します。使用状況などにより送風しないときもあります。

メモ

- 入タイマー運転待機中は、切タイマー運転をセットすることができません。
- 切タイマー運転中にタイマー時間を変えたいときは、もう一度 1 からセットしてください。

切タイマー運転を解除する

切タイマーボタンを現在湿度表示(解除)になるまで押す



お手入れサインが点滅したとき

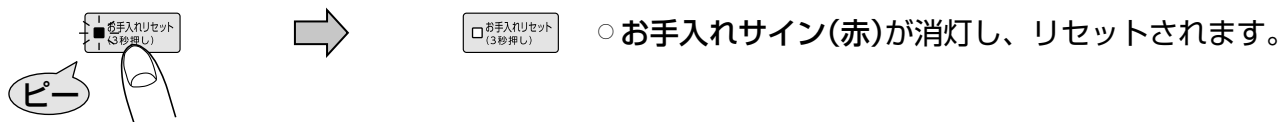
お手入れ時期の目安をお手入れサイン(赤)が点滅してお知らせします。

運転時間にかかわらず、電源プラグをコンセントに差し込んでから2週間後に、お手入れサイン(赤)が点滅します。運転を停止させ、お手入れをしてください。

1 抗菌気化フィルターのお手入れをする

お手入れのしかたは、20ページ「お手入れサインが点滅したとき」に従ってください。

2 お手入れリセットボタンを「ピー」と鳴るまで約3秒間押し、お手入れサイン(赤)を解除する



スマートリモコンから操作するとき

本加湿器は、スマートリモコンに操作機能を登録させることで、スマートフォンなどの端末からスマートリモコンを経由して加湿器を遠隔操作することができます。スマートリモコンは付属していませんので遠隔操作をしたいときは、登録機能のあるものをご用意ください。

お守りください

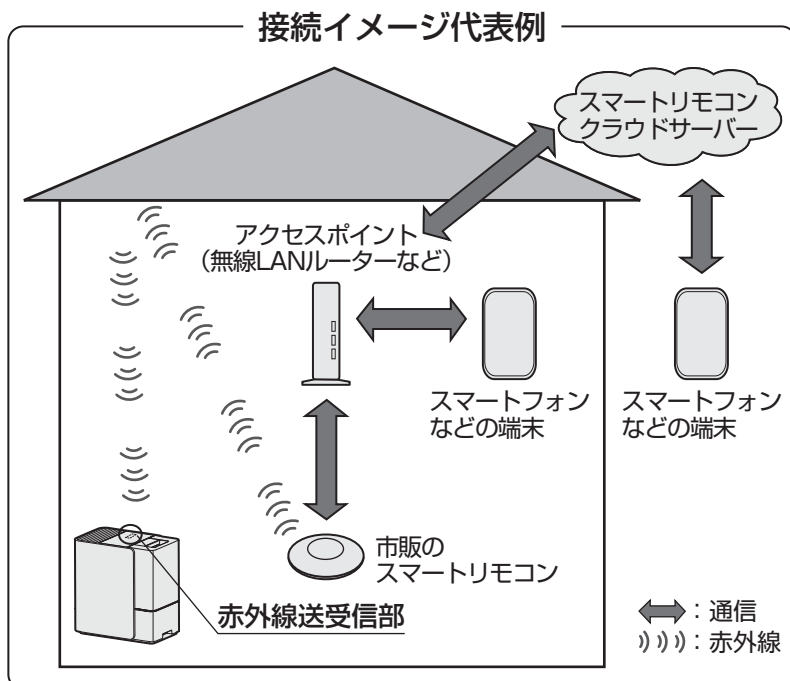
- 外出先や家の中の別の部屋から遠隔操作をしたいときは、加湿器の近くにいる人が予期せぬ動作をしたと勘違いしないよう、あらかじめ遠隔操作をすることを知らせておいてください。
- 誤動作防止のため、スマートフォンなどの操作端末の画面をロックすることをおすすめします。

使用前の準備

遠隔操作に必要な機器を準備する

- インターネット環境
- アクセスポイント(無線LANルーターなど)
- スマートリモコン(登録機能付き)
- スマートフォンなどの端末

※ 必要な環境はお使いになるスマートリモコンにより異なります。詳細はお使いになるスマートリモコンの取扱説明書をご確認ください。



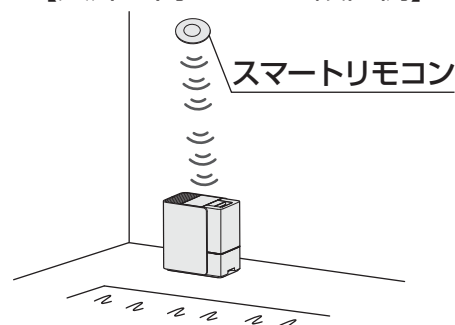
設置のしかた

設置場所

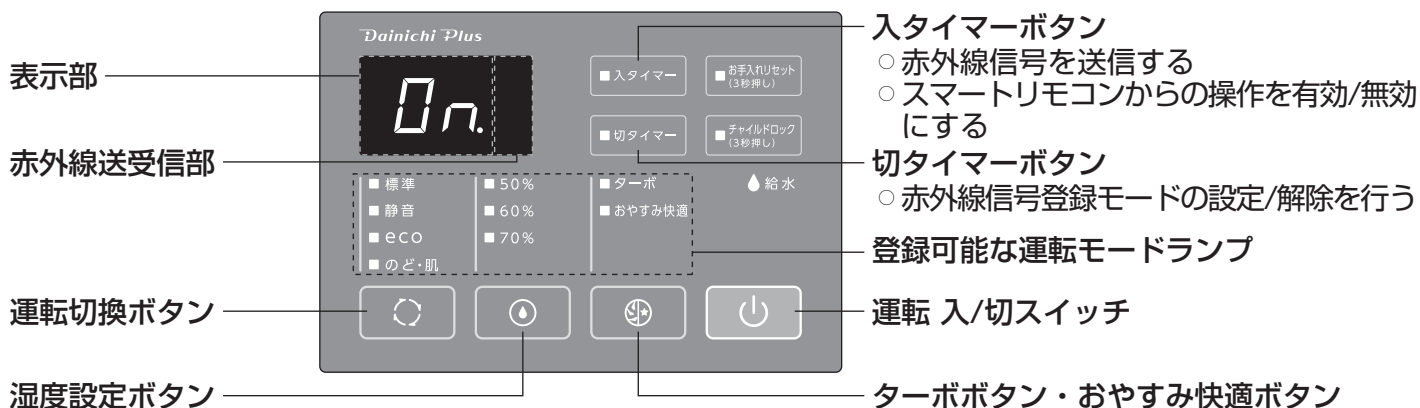
スマートリモコンの設置のしかたについては、お使いになるスマートリモコンの取扱説明書をご確認ください。

- 7ページ「設置のしかた」に従って加湿器を設置してください。スマートリモコンによっては、スマートリモコンと加湿器の距離は変わりますので、お使いになるスマートリモコンの赤外線が届く範囲でご使用ください。
- 天井の高い部屋で設置するときは、加湿器を壁側に設置し、スマートリモコンを加湿器背面側の壁に設置すると赤外線が届きやすくなります。
- 加湿器とスマートリモコンの間に通信を妨げるような障害物を置かないでください。
信号が届かないことがあります。
- 次のときは、スマートリモコンの信号を受け付けにくくなる場合がありますので、ご注意ください。
 - ・ 蛍光灯やインバータ形の照明器具を使用しているとき
 - ・ 赤外線送受信部に照明器具や直射日光などの強い光があたっているとき
- 当社スマートリモコン対応加湿器が複数台ある場合、使用したい加湿器だけを限定して操作することができないため、対象とする加湿器以外はスマートリモコンの影響を受けないよう離して設置してください。

【天井が高いときの設置例】



操作・表示部



※表示部の右下に「.」が表示しているときは、スマートリモコンの操作が有効な状態です。

赤外線信号を登録する

赤外線信号を登録する前に、スマートリモコンを加湿器の近くに準備してからスマートリモコンにお好みの機能を登録してください。

赤外線信号登録中は、他の赤外線リモコンを使用しないでください。

間違った信号を登録してしまうおそれがあります。

スマートリモコンの操作方法については、お使いになるスマートリモコンの取扱説明書をご確認ください。

1 赤外線信号登録モード設定

- 運転停止中に切タイマーボタンを「ピッピッ」と鳴るまで3秒間押し、加湿器を赤外線信号登録モードに設定してください。



2 赤外線信号選択

- 登録したい赤外線信号を選択してください。

運転入/切を選択するとき

運転入/切スイッチを押す

運転入/切スイッチを押すごとに選択する運転入/切が切り換わります。



- 選択した運転入/切表示をします。

運転モード・設定湿度を選択するとき

- 選択したいいずれかのボタン(運転切換ボタン、ターボボタン・おやすみ快適ボタン、湿度設定ボタン)を押すと、表示部は右のような表示になり、選択したボタンを押すごとにランプが点灯し、切り換わります。



3 アプリの設定


- スマートリモコンから提供されているアプリを使用して赤外線信号を登録できる状態にしてください。

3 はスマートリモコンアプリを操作してください。

スマートリモコンから操作するとき

赤外線信号を登録する

4 赤外線信号の送信


- スマートリモコンを加湿器の赤外線送受信部にできるだけ近づけて入タイマーボタンを押すと、表示部右下の「」が3秒間点滅し、**2**で選択した赤外線信号がスマートリモコンに送信されます。

2で運転入を選択したとき




5 赤外線信号の登録

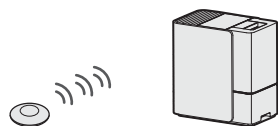
- 加湿器からの赤外線信号をスマートリモコンで受信できたら、スマートリモコンの取扱説明書に従って登録作業を行なってください。

 **5** はスマートリモコンアプリを操作してください。

6 赤外線信号の確認

- スマートリモコンを加湿器の赤外線送受信部に向け、登録した赤外線信号をスマートリモコンから加湿器に送信してください。

 **6** はスマートリモコンアプリを操作してください。



- 受信すると登録した赤外線信号に対応した表示を3秒間点滅しますので確認してください。

2で運転入を選択したとき




- 表示部「On」が点滅します。

2で標準運転を選択したとき



- 標準
- 静音
- eco
- のど・肌

- 表示部「」と標準運転モードランプ(赤)が点滅します。

- 次のときは、登録した赤外線信号が間違っています。再度、登録してください。
 - ・表示部やランプが点滅しない
 - ・登録した機能に対応した表示やランプが点滅しない


7 赤外線信号登録・確認

- 登録したい赤外線信号をすべて登録するまで、**2**～**6**を繰り返してください。

8 赤外線信号登録モードの解除

- 切タイマーボタンを「ピッ」と鳴るまで3秒間押し、赤外線信号登録モードを解除してから加湿器をご使用ください。



- 表示部右下の「」のみ表示します。
- 赤外線信号登録モードを解除すると、スマートリモコンから加湿器を操作することができます。

メモ

- 赤外線信号登録モードに設定後、5分間操作を行わないと赤外線信号登録モードを自動解除します。

お守りください

- スマートリモコンに赤外線信号を登録したあとは、ご使用前にスマートリモコンからの操作が正しく動作することを確認してください。

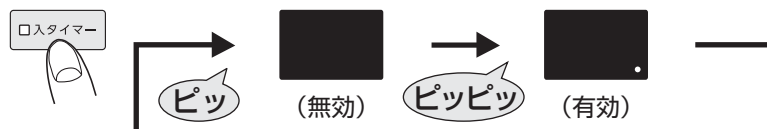
〇〇スマートリモコンの操作を有効/無効にする〇〇

入タイマーボタンを約3秒間押すと、スマートリモコンの操作を有効/無効に設定することができます。

運転中、運転停止中のどちらでも設定を行うことができます。

入タイマーボタンを約3秒間押す

入タイマーボタンを押すごとに設定する表示が切り換わります。



- 運転モードによっては、「 .」が通常より暗く表示することがあります。

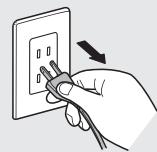
メモ

- 工場出荷時は、スマートリモコンの操作は無効に設定されています。赤外線信号を登録していないと、スマートリモコンから操作をすることはできません。
- スマートリモコンの操作の有効/無効設定は、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも記憶しています。再度、設定する必要はありません。
- チャイルドロック設定中は、スマートリモコンの操作の有効/無効設定はできません。一度、チャイルドロックを解除してから設定してください。
- 遠隔操作をして欲しくないときは、スマートリモコンの操作を無効に設定してください。

お手入れのしかた

お守りください

- 点検・お手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、送風ファンが停止したことを確認後、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。また、分解はしないでください。感電・発火・故障の原因になります。
- お手入れせずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。定期的にお手入れを行なってください。



ご使用のたびに

タンク内をきれいにする

- タンク内の水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。タンク内の水を捨て、きれいな水を少し入れ振り洗いしてください。
- タンクキャップを外したときに、Ag+抗菌アタッチメントEXをクエン酸で洗浄しないでください。ヌメリや臭いを抑える効果が得られなくなります。

メモ

- お手入れサイン(赤)が点滅する前にタンクの水の減りが遅くなったときは、抗菌気化フィルターのお手入れをしてください。[20ページ](#)

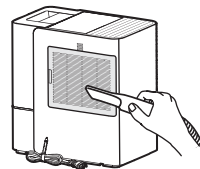
週に1回程度

本体のごみやほこりをふき取る

- 柔らかい布でからぶきしてください。汚れが落ちにくいときは、水でうすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいたあと、洗剤が残らないように固く絞った布でふき取り、からぶきしてください。
- 変質や変色防止のため、ベンジン、シンナー、アルコール、アルカリ洗剤、漂白剤などは使用しないでください。また、化学ぞうきんを使用するときはその注意書に従ってください。

吸気グリルのお手入れをする

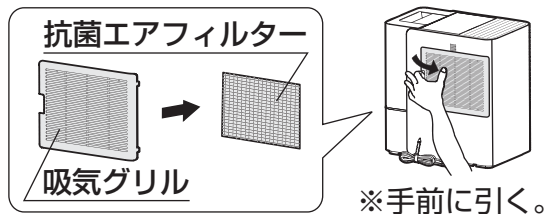
掃除機などで吸気グリルのほこりを吸い取る。



吸気グリルの汚れがひどいとき

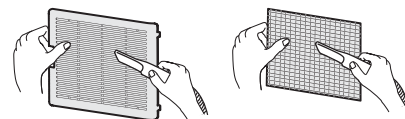
吸気グリルの汚れがひどくなると、雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。

1. 吸気グリルを外し、抗菌エアフィルターを外す。



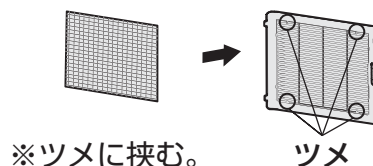
2. 吸気グリル、抗菌エアフィルターは掃除機などでほこりを吸い取る。

※抗菌エアフィルターの汚れが落ちにくいときは、交換をおすすめします。[24ページ](#)



3. 吸気グリルに抗菌エアフィルターを取り付ける。

※抗菌エアフィルターは吸気グリル裏側のツメ(4箇所)に挟むように取り付ける。



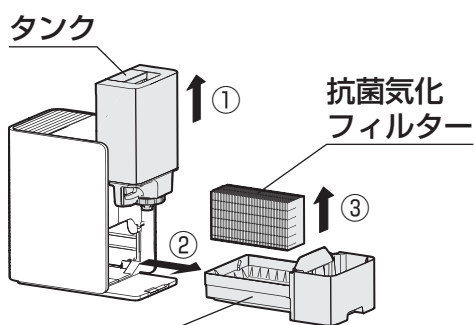
4. 吸気グリルを本体に取り付ける。

お手入れサインが点滅したとき

抗菌気化フィルター・トレイ仕切板のお手入れをする

抗菌気化フィルターやトレイ仕切板に水アカが付着します。水アカは水道水に含まれるミネラル分が気化せずに残ったものです。お手入れせずに使用を続けると固まって取れにくくなり、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になりますので必ずお手入れしてください。

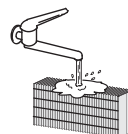
1 各部品を外し、抗菌気化フィルターをお手入れする



トレイ
※水平に引き出す。

お手入れのたびに(2週間に1回程度)

- 水道水で水洗いする。
- 吹き出す風が臭ったときは、重曹で洗浄する。
- 上部が乾いているときは、クエン酸で洗浄する。
- お手入れ後に続けて使うときは、ぬれたままでもご使用いただけます。



お手入れの2回に1回(1カ月に1回程度)は

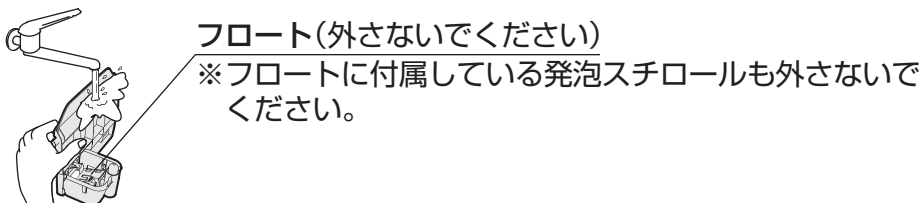
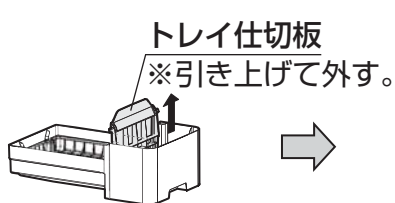
- クエン酸で洗浄する。

5シーズンに1回は

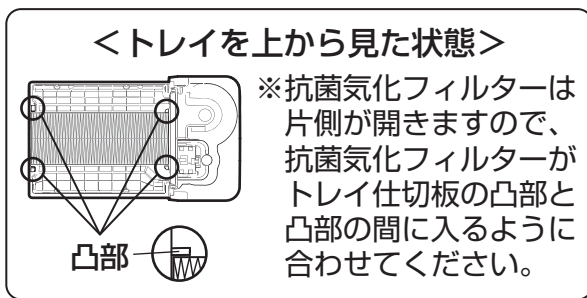
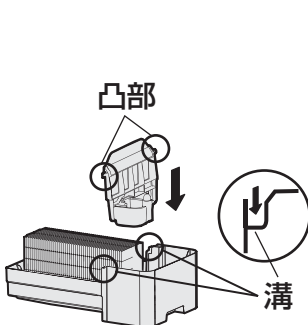
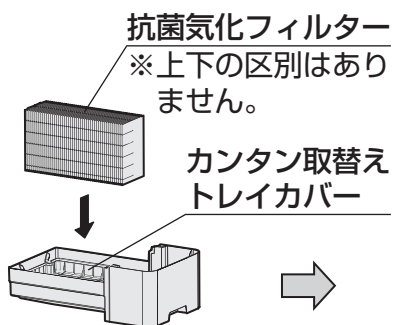
- 新しいもの(別売部品)と交換する。[23ページ](#)

※抗菌気化フィルターに強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。
※洗浄のしかたは、21ページ「抗菌気化フィルターの洗浄のしかた」に従ってください。

2 トレイからトレイ仕切板を外し、水洗いする



3 トレイの水を捨て、抗菌気化フィルター、トレイ仕切板の順にトレイにセットする



※トレイ仕切板をセットするときは、トレイ仕切板の凸部をトレイの溝に入れてください。
※カンタン取替えトレイカバーは、1シーズンを目安に新しいもの(別売部品)と交換してください。

4 トレイとタンクを本体にセットする

※トレイは奥まで確実に入れてください。

5 お手入れサイン(赤)を解除する [14ページ](#)

※お手入れサイン(赤)が点滅する前にお手入れを行なったときも、お手入れリセットボタンを「ピー」と鳴るまで約3秒間押し、リセットしてください。

お手入れのしかた

抗菌気化フィルターの洗浄のしかた

- ぬるま湯に用途に合わせて洗浄剤を溶かし、抗菌気化フィルターを浸ける。
(クエン酸と重曹を一緒に入れないでください)
塩素系・酸性タイプの洗剤は使用しないでください。有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。
40℃以上のお湯は使用しないでください。部品破損の原因になります。



用途	洗浄剤	使用量	浸け置き時間
定期的に水アカを取るとき	クエン酸	4.0Lあたり約25g (大さじ2杯半)※1	約30分～2時間※2
吹き出す風が臭ったとき	重曹	4.0Lあたり約150g	約60分

※1 濃度が高いと部品破損の原因になります。
※2 水アカが取れにくいときは、浸け置き時間を長く(最長2時間)してください。

- 水道水で2分以上を目安に、しっかりすすぎ洗いのする。



※すすぎが不十分だと洗浄剤の成分が残り、臭いの発生や故障の原因になります。
※抗菌気化フィルターを外したまま機器を使用しないでください。

※詳しくは弊社ホームページでご覧いただけます。26ページ

メモ

○クエン酸・重曹は薬局、薬店、ホームセンター、インターネットなどでお買い求めください。24ページ

定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店などに点検依頼(有料)をおすすめします。

愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を！



こんな
症状は
ありま
せんか

- ・水漏れする。
- ・本体が異常に熱かったり、焦げくさい臭いがする。
- ・運転中に異常な音や振動がする。
- ・その他の異常や故障がある。



ご使用
中止

事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

保管と廃棄のしかた

保管するとき(長期間使用しないとき)

- 「お手入れのしかた」に従ってお手入れしてください。終了後再度、電源プラグをコンセントに差し込み、お手入れリセットボタンを「ピー」と鳴るまで約3秒間押し、リセットしてください。14ページ
- 抗菌気化フィルターなどお手入れした部品を十分に乾かしてから、お買い上げ時の包装箱に入れるか、ポリ袋などで包み、湿気の少ないところに保管してください。また、本体を傾けたり、横倒しの状態にしないでください。

廃棄するとき

本体・消耗部品を廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。

- 抗菌気化フィルター……………レーヨン・プラスチック(ポリエステル)
- 抗菌エアフィルター……………プラスチック(PP)
- Ag+抗菌アタッチメントEX……………プラスチック(PP・ナイロン)
- カンタン取替えトレイカバー……………プラスチック(PP)

消耗部品の材質


故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次の症状が現れたときは、適切な処置を行なってください。




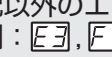
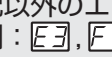
症状	原因	処置方法
給水サイン(赤)と現在湿度表示が点滅している	タンクの水がなくなった。	タンクに給水する。 ◀ 8 ページ ▶ 9 ページ
タンクに水が入っているのに給水サイン(赤)が点滅する	本体が傾いている。	水平な場所に設置する。 ◀ 7 ページ ▶
	トレイが本体に確実に入っていない。	トレイを本体の奥まで確実に入れる。 ◀ 20 ページ ▶
	フロートが引っ掛かっている。	フロート周辺のごみを取り除く。 ◀ 20 ページ ▶
湯気や霧が見えない	運転入/切スイッチを押し直していない。	運転入/切スイッチを押し直す。 ◀ 9 ページ ▶
	本製品は抗菌気化フィルターに風をあてて湿った空気を送り出す方式のため、湯気や霧は見えません。	異常ではありません。 ◀ 4 ページ ▶
運転しない	チャイルドロックがセットされている。	チャイルドロックを解除する。 ◀ 10 ページ ▶
	給水サイン(赤)が点滅している。	タンクに給水する。 ◀ 8 ページ ▶ 9 ページ
	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに確実に差し込む。 ◀ 8 ページ ▶
運転中なのに風が出ない(加湿しない)	部屋の湿度が設定した湿度以上になっているため、加湿を止めています。	異常ではありません。 ◀ 9 ページ ▶
風は出ているのに、タンクの水が減らない、または風の出が少ない	吸気グリルにほこりが付着している。	吸気グリルのお手入れをする。 ◀ 19 ページ ▶
	抗菌気化フィルターに水アカやごみが付着している。	抗菌気化フィルターのお手入れをする。 ◀ 20 ページ ▶
風が冷たい	水が気化するとき熱が奪われるので、室温より低い温度の風が出ます。	異常ではありません。 ◀ 4 ページ ▶
現在湿度が設定湿度より高い、または現在湿度表示が70%以下にならない	設置状況によっては現在湿度が設定湿度より高くなる場合があります。	設置場所を確認する。 ◀ 7 ページ ▶
		十分な加湿が得られているときは、運転を停止する。 ◀ 10 ページ ▶
加湿器の現在湿度表示と他の湿度計の表示が一致しない	現在湿度表示は、加湿器の設置状況や湿度計の種類により異なります。	設置場所を確認する。 ◀ 7 ページ ▶
		現在湿度表示は、目安としてお使いください。 ◀ 9 ページ ▶
運転切換ができない	給水サイン(赤)が点滅している。	タンクに給水する。 ◀ 8 ページ ▶ 9 ページ
タイマー運転ができない		
湿度が上がらない	部屋が広すぎる。	適用床面積の範囲でお使いください。 ◀ 25 ページ ▶
	エコ(eco)運転、静音運転、おやすみ快適運転になっている。	標準運転、ターボ運転でお使いください。 ◀ 11 ページ ▶
	窓や戸が開いている。	窓や戸を閉めてお使いください。
	抗菌気化フィルターに水アカやごみが付着している。	抗菌気化フィルターのお手入れをする。 ◀ 20 ページ ▶
運転停止中に送風ファンが回っている	部屋の湿度を検知するため一定間隔で送風ファンが回ります。	異常ではありません。気になる方は、現在湿度表示を消してお使いください。 ◀ 6 ページ ▶
音がする	「ポコポコ」という音は、タンクからトレイに水が供給される時、タンクの中に空気が入る音です。	異常ではありません。
	「ブーン」、「ジー」という音は、送風ファンが動いている音です。	異常ではありません。いつもより音が大きいときは、吸気グリル・抗菌気化フィルターのお手入れをしてお使いください。 ◀ 19 ページ ▶
臭いが出る	抗菌気化フィルター・トレイ仕切板・吸気グリル・カンタン取替えトレイカバーが汚れている。	○ 抗菌気化フィルター・トレイ仕切板・吸気グリルのお手入れをする。 ◀ 19 ページ ▶ ○ カンタン取替えトレイカバーの交換をする。 ◀ 24 ページ ▶

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置方法
スマートリモコンから操作ができない	加湿器とスマートリモコンが離れている。 天井が高い部屋で使用している。	設置場所を確認し、スマートリモコンを加湿器に近づけてお使いください。 15ページ
	加湿器とスマートリモコンの間に通信を妨げるような障害物がある。	障害物を取り除く。 15ページ
	スマートリモコンの操作が無効になっている。	スマートリモコンの操作を有効に設定する。 18ページ
	チャイルドロックがセットされている。	チャイルドロックを解除する。 10ページ
	加湿器にエラーが発生した。	エラーに対して処置を行う(次項参照)。
	スマートリモコンとの赤外線信号の送受信ができない。	16ページに示す手順(2~4)に従って操作を行い、表示部右下の「  」が点滅することを確認してください。 ○点滅したときは、加湿器は異常ではありません。スマートリモコンの設定や設置位置をご確認ください。 ○点灯しているときは、点検・修理が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。 26ページ
思い通りに操作ができない	スマートリモコンに登録した赤外線信号が間違っている。	再度、赤外線信号の登録を行う。 16ページ
	スマートリモコンと本体から操作をそれぞれ行なっている。	最後に行なった操作が有効になりますので、異常ではありません。

異常の原因と処置のしかた

次のようなエラー表示が現れたときは、適切な処置を行なってください。

表示部(エラー表示)	原因(安全装置)	処置方法
 点滅	本体を傾けたり、転倒したため自動停止した。 (転倒自動停止装置が作動)	水平な場所に設置し、こぼれた水をふき、本体が乾いてから運転入/切スイッチを押し直す。 7ページ
 点滅	室温異常(0℃以下、または40℃以上)になったため自動停止した。 (室温異常自動停止装置が作動)	設置方法を確認、運転入/切スイッチを押し直す。 7ページ
 点滅	○吹出口や吸気グリルが物でふさがれたり、ほこりがたまっただけで自動停止した。 ○設置状況により、本体内部が高温になったため自動停止した。 (過熱防止装置が作動)	○吹出口や吸気グリルの障害物を取り除き、掃除する。 19ページ ○設置方法を確認、運転入/切スイッチを押し直す。 7ページ
上記以外のエラー (例:  , )	点検・修理が必要な故障です。	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。 26ページ

処置を行っても直らないとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。[26ページ](#)
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

消耗部品の交換について

交換の目安

◆抗菌気化フィルター

- 5シーズンを目安に新しいもの(別売部品)と交換してください(1シーズン6カ月、1日8時間運転、水道水の硬度50mg/L(全国平均)、月に1回クエン酸洗浄した場合)。また、5シーズン以内でも汚れや水アカが落ちにくくなったり、傷みや型くずれがひどいときは交換してください。[24ページ](#)
- 交換せずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。なお、水道水の硬度の違いにより寿命が短くなる場合があります。また、クエン酸で洗浄せずに使用を続けると寿命が短くなり、1シーズンに満たなくても交換が必要になる場合があります。

消耗部品の交換について

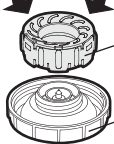
◆抗菌エアフィルター

- 汚れが落ちにくくなったら交換をおすすめします(次項を参照)。
交換せずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。◀19ページ

◆Ag+抗菌アタッチメントEX

- 1シーズンを目安に新しいもの(別売部品)と交換してください(1日平均7Lの水道水を6カ月使用した場合(総使用量1,260L)が交換の目安)(次項を参照)。
なお、水質、使用環境によっては、交換時期が早くなる場合があります。
Ag+抗菌アタッチメントEXは、取り付けずにご使用いただくこともできますが、ヌメリや臭いの原因を抑える効果が得られなくなります。

ゆるむ しまる Ag+抗菌アタッチメントEX



タンクキャップ

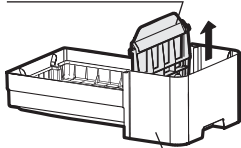
※交換部品ではありません。
捨てないでください。

◆カンタン取替えトレイカバー

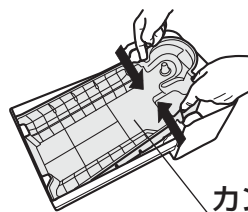
- 1シーズンを目安に新しいもの(別売部品)と交換してください(1日8時間運転、水道水の硬度50mg/L(全国平均)が交換の目安)(次項を参照)。
なお、1シーズンに満たなくても汚れや水アカが気になるときは、交換をおすすめします。
カンタン取替えトレイカバーは、取り付けずにご使用いただくこともできますが、その際は、抗菌気化フィルターと一緒にトレイもお手入れしてください。

1. トレイからトレイ仕切板を引き上げて外す。
2. トレイの水を捨て、カンタン取替えトレイカバーを外す。
※トレイが汚れていたときは、スポンジなどで水洗いしてください。
水洗い後、トレイについた水は、ふき取ってください。

トレイ仕切板



トレイ



※カンタン取替えトレイカバーとトレイの間に指を入れて押し上げて外してください。

カンタン取替えトレイカバー

3. 新しいカンタン取替えトレイカバーをトレイにセットする。

部品のご注文について

次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。その際は、型名・部品名・商品コードをはっきりとお伝えください。また、弊社ホームページでもご注文ができます。◀表紙

別売部品

(この部品は本加湿器用です。他の機器では使用しないでください。)
また、価格や仕様は予告なく変更することがあります。
その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

<消耗部品>

※純正品をご使用ください。
加湿器本来の性能を発揮できない場合があります。

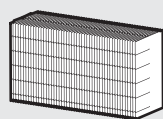


クエン酸

100g

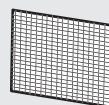
【クエン酸】
330円

(本体価格 300円)
商品コード: H010010



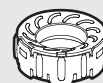
【抗菌気化フィルター】
2,640円

(本体価格 2,400円)
商品コード: H060520



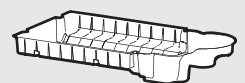
【抗菌エアフィルター】
880円

(本体価格 800円)
商品コード: H060537



【Ag+抗菌アタッチメントEX】
1,320円

(本体価格 1,200円)
商品コード: H011502



【カンタン取替えトレイカバー】
※3枚入り
1,650円

(本体価格 1,500円)
商品コード: H011504

仕 様

型 名		HD-LX1023				
電源電圧及び周波数		AC100 V 50/60 Hz				
運 転 モ ー ド		標 準	静音/おやすみ快適	エコ(eco)	のど・肌加湿	ターボ
消費電力(最大)		420/430 W	415/425 W	23/28 W	420/430 W	425/435 W
加湿量(最大) ^{※1}		960 mL/h	800 mL/h	600 mL/h	960 mL/h	1100 mL/h
運 転 音	最 大	34 dB	27 dB	34 dB	34 dB	40 dB
	最 小	13 dB	13 dB	13 dB	25 dB	40 dB
連続加湿時間 ^{※2}		約7.3時間	約8.8時間 ^{※3}	約11.7時間	約7.3時間	－ ^{※4}
タンク容量		7.0 L				
適用床面積	木造和室	27 m ² (16 畳)まで				
	プレハブ洋室	44 m ² (27 畳)まで				
外形寸法(高さ×幅×奥行)		405 mm×390 mm×245 mm				
質 量		約6.4 kg				
電源コードの長さ		2.0 m				
安 全 装 置		転倒自動停止装置、室温異常自動停止装置、過熱防止装置				

型 名		HD-LX1223				
電源電圧及び周波数		AC100 V 50/60 Hz				
運 転 モ ー ド		標 準	静音/おやすみ快適	エコ(eco)	のど・肌加湿	ターボ
消費電力(最大)		665/675 W	415/425 W	23/28 W	665/675 W	670/680 W
加湿量(最大) ^{※1}		1200 mL/h	800 mL/h	600 mL/h	1200 mL/h	1300 mL/h
運 転 音	最 大	34 dB	27 dB	34 dB	34 dB	40 dB
	最 小	13 dB	13 dB	13 dB	25 dB	40 dB
連続加湿時間 ^{※2}		約5.8時間	約8.8時間 ^{※3}	約11.7時間	約5.8時間	－ ^{※4}
タンク容量		7.0 L				
適用床面積	木造和室	34 m ² (20 畳)まで				
	プレハブ洋室	55 m ² (33 畳)まで				
外形寸法(高さ×幅×奥行)		405 mm×390 mm×245 mm				
質 量		約6.4 kg				
電源コードの長さ		2.0 m				
安 全 装 置		転倒自動停止装置、室温異常自動停止装置、過熱防止装置				

※1 加湿量(最大)は室温20℃・湿度30%の場合。室内の湿度や温度条件により加湿量は変わります。◀7ページ▶

※2 連続加湿時間は加湿量(最大)で運転し続けた場合。

※3 おやすみ快適運転設定時は約10時間で運転を停止します。

※4 ターボ運転設定時は最長1時間で終了します。

保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談・別売部品の購入などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証について

◆保証書(裏表紙に付いています) 裏表紙

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。
- 内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

◆保証期間

保証期間は、お買い上げ日から本体3年間です。なお、消耗部品(抗菌気化フィルター・抗菌エアフィルター・Ag+抗菌アタッチメントEX・カンタン取替えトレイカバー)の取り替えは、保証期間中でも有料となります。他にも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 本加湿器の補修用性能部品は、製造打切り後9年保有しています。

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」に従ってお調べください。 22ページ 23ページ
- 処置を行なっても直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。その際は、右の事項をご連絡ください。

◆保証期間中

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

◆保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

◆修理料金

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

品名：ダイニチ加湿器
型名：本体背面に表示
お買い上げ日：保証書に記載
故障の症状：エラー表示など、できるだけ詳しく

お守りください

- 修理などで加湿器を運搬するときは、必ずタンク・トレイの水を捨ててください。運搬の途中で水がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。

ご相談窓口(使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談など)

お客様ご相談窓口(通話料無料)

携帯電話、スマートフォンからもお問い合わせいただけます。

TEL 0120-468-110

FAX 0120-468-220

<受付時間>

9:00~12:00/13:00~17:00

(土曜・日曜・祝日は除く)

※型名(本体背面に表示)をご確認のうえ、ご連絡ください。

インターネットからのお問い合わせ

■パソコン・タブレット・スマートフォンからアクセス
<https://www.dainichi-net.co.jp/support/>

ダイニチ工業 お客様サポート

検索



※通話料などはお客様のご負担となります。

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1. ダイニチ工業株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ①修理やその確認業務を委託する場合
 - ②法令の定める規定に基づく場合
3. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。



加湿器保証書

型名	ご購入機種に○を付けてください		製造番号																	
	HD-LX1023	HD-LX1223																		
お客様	お名前 様																			
	ご住所 〒																			
	電話番号 (見) 本																			
お買い上げ日			販売店名・住所																電話番号	
年 月 日																				
保証期間(お買い上げ日から)																				
本体3年間																				

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記期間中故障が発生したときは、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

(お客様へお願い)

お手数ですが、お名前・ご住所・電話番号をわかりやすくご記入ください。販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

(ご販売店様へ)

お買い上げ日・製造番号・貴店名・住所・電話番号を必ず記入し(記入のないときは無効となります)、本書をお客様へお渡しください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障したときは、お買い上げの販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受けるときは、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に依頼してください。
- ご転居のときは、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できないときは、弊社にご相談ください。
- 保証期間内でも次のときは、有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、不当な修理・改造による故障や損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動・落下などによる本体の故障や損傷、およびタンク・タンクキャップの損傷。使用状況などによる本体やタンクの変形・変色。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)などによる故障や損傷
 - (ニ) 異常電圧、指定外の電源(電圧・周波数)、ほこりなどによる故障や損傷
 - (ホ) 消耗部品(抗菌気化フィルター・抗菌エアフィルター・Ag⁺抗菌アタッチメントEX・カンタン取替えトレイカバー)の取り替え
 - (ヘ) 定期点検や内部清掃の費用
 - (ト) 一般家庭用以外(たとえば、業務用の長時間使用や車両・船舶への搭載)に使用されたときの故障や損傷
 - (チ) 本書の提示がないとき
 - (リ) 本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入のないとき、あるいは字句を書き替えられたとき。通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がないとき。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または弊社にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書(26ページ)をご覧ください。

ダイニチ工業株式会社

〒950-1295 新潟市南区北田中780-6
お客様ご相談窓口TEL 0120-468-110
ホームページ <https://www.dainichi-net.co.jp/>

